

令和7年3月31日

鹿沼市議会議長 谷 中 恵 子 様

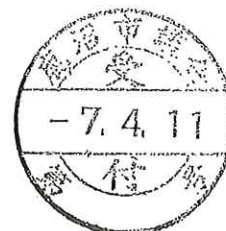
会 派 名 経 世 会

経理責任者名 橋 本 勝 浩



令和6年度 政務活動費収支報告について

鹿沼市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定に基づき、別紙のとおり
令和6年度 政務活動費収支報告書を提出します。



(別紙)

令和6年度 政務活動費収支報告

会 派 名

経 世 会

1 収 入
政務活動費

1,500,000 円

2 支 出

科 目	金 額	備 考
研究研修費	0円	
調査旅費	596,076円	
資料作成費	0円	
資料購入費	220,200円	
広報広聴費	350,000円	
人件費	0円	
事務費	337,671円	
その他経費	0円	
合計	1,503,947円	

3 残 額

0 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
研究研修費	0円	
小 計	0円	

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調査旅費		11/20 つくば市行政視察負担金 16,393円 ①
		1/13 視察先手土産代(いちご大福) 6,000円 ②
		1/13 視察先手土産送料 2,920円 ③
		1/14 旅ペリーかぬま(宿泊代、交通費等) 556,620円 ④
		1/21 ETC利用料(沖縄道) 650円 ⑤
		1/22 ホテル駐車代 1,500円 ⑥
		1/22 旧海軍司令部壕入館料 3,000円 ⑦
	596,076円	1/22 レンタカー燃料代 4,083円 ⑧
		1/22 ETC利用料(首都高) 1,960円 ⑨
		1/22 ETC利用料(東北道) 2,950円 ⑩
小 計	596,076円	

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
資料作成費	0円	
小 計	0円	

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
資料購入費	220200円	4/11(株)日本教育新聞社 日本教育新聞購読料 16,500円 ⑪ (石川さやか) 10/28(株)日本教育新聞社 日本教育新聞購読料 16,500円 ⑫ (石川さやか) 3/24(株)読売ビター鹿沼中央 下野新聞購読料 46,800円 ⑬ (大貫桂一) 3/24(株)瀬谷新聞店 下野新聞購読料 46,800円 ⑭ (橋本勝浩) 3/24(株)瀬谷新聞店 下野新聞購読料 46,800円 ⑮ (石川さやか) 3/31(有)宇賀神 下野新聞購読料 46,800円 ⑯ (小島実)
小 計	220200円	

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
広報広聴費	350,000円	3/24(有)吉村印刷 会派広報誌印刷折込代 350,000円⑦
小 計	350,000円	

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
人件費	0円	
小 計	0円	

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
事務費	337,671円	3/13(株)シブエ(タブレット用キーボード4台)64,900円 ⑮ 3/10 インターネット利用料 10,946円 ⑰ 3/31(株)柳田メディア(PCプリンターリース料) 234,960円 ⑱ 3/31(株)柳田メディア(プリンター保守料) 19,495円 ㉑ 3/31(株)柳田メディア(コピー用紙代) 7,370円 ㉒
小 計	337,671円	

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
その他経費	0円	
小 計	0円	

領収証

No. 13

鹿沼市議会経世会様

6年 12月 2日

金額 ¥ 119,950-

但 10月23日中に現金

上記正に領収いたしました

内訳

現金	✓
小切手	
消費税	9,400
	10,050(9%)



一般貸切バス
株式会社 横根交通



栃木県鹿沼市野尻 324-1
TEL 0289(64)4134 FAX 0289(64)4155

登録番号: T8060001010670

領収証

No. 1

6会派
鹿沼市議会経世会様 2-0055 栃木県鹿沼市石橋町 602-22

R6年 10月 21日

(有) 松風印刷

下記正に領収いたしました TEL&FAX 0289-62-1976

税込 合計金額		¥3,000 —		消費税額等				
品名	数量	単価	金額(税抜・税込)				税率%	
菓子折	1	3000			3	0	0	

令和6年10月23日実施 行政視察
「つくば市みどりの学園義務教育の
部活動の地域移行について」

【支出額】

119,950円 + 3,000円 = 122,950円
(バス借上げ) (謝礼菓子折)

【1人当たりの負担金額】

122,950円 ÷ 15人 (参加人数)
= 8,197円

【会派支出額】 会派名 経世会

8,197円 × 2人 = 16,394円

令和6年11月8日

鹿沼市議会

議長 谷 中 恵 子 様

(参加者代表)

鹿沼市議会議員 藤 田 義 昭

つくば市立みどりの学園義務教育学校行政視察調査報告書

鹿沼市議会として、つくば市立みどりの学園義務教育学校の部活動の地域移行について行政視察を実施したので下記のとおり報告します。

記

1 視察日程

令和6年10月23日(水) 15:00～16:30

2 参加者

(議長) 谷中恵子 (副議長) 石川さやか

(議員) 大島久幸、関口正一、横尾武男、増渕靖弘、津久井健吉、佐藤 誠、
阿部秀実、藤田義昭、橋本修、船生雅秀、橋本勝浩、仲田知史、
鹿妻武洋

3 つくば市立みどりの学園義務教育学校の概要

- ・ 2018年4月に義務教育学校として開校
- ・ 前期課程(小学生) 1,383人、後期課程(中学生) 410人
- ・ 市内には他に3校の義務教育学校がある

4 つくば市の部活動地域移行の改革ビジョン

- ・ 子どもはもちろんのこと、教員や地域住民、自治体全体にとってポジティブな未来が実現できることを示す必要がある。
- ・ 中学校の問題を、自治体全体の文化教育政策・まちづくり視点での議論に
- ・ 部活動を地域コミュニティ活動として展開し、全ての住民が参加できる文化スポーツ教育環境を構築。市民のウェルビーイング(人とのつながりを感じ、心身ともに健康でいきいきとしている状態)を実現する。

5 みどりの学園義務教育学校における部活動地域移行

- ・指定管理者の㈱エンボス企画が運営（筑波大生のベンチャー企業）
- ・地域クラブ「みどりの SCC」を設立。クラブに入会することで17種目全てのスポーツ・文化クラブの部活動に参加できる。
- ・指導者 競技歴・指導歴が豊富な民間指導者、指導を希望する学校教員（指導1回あたり平日4,000円、休日8,000円で謝金支給）
- ・活動場所 みどりの学園とみどりの南小中学校、2つの学校施設
- ・費用 年会費6,600円、月会費5,500円 支払いはカード決済のみ
その他共通のウィンドブレーカー購入など、年合計39,600円＋α
- ・会員数345人（生徒の75%）、指導者35人（うち教員の兼業15人）

6 議会からの質問事項

- ①会費5,500円に対して、費用の高さからクラブ活動へ参加しない家庭もあったと動画にありましたが、今後、行政から補助等をする（増額する）といった検討はありますか？

⇒反対意見は特になかった。これまでに退会者は約6%。理由は「お金を払ってまでその種目はやりたくない」など。今後は指導者謝金を種目の増により増やさなければならぬため市と検討予定。

- ②運営者の選定の際に、重要視した点はどんなことでしたか？

⇒運営事業者は少ないが、たまたま適した企業があったため。受益者モデルとして支援する形をとっている。

- ③部活動参加のために学校間の移動の危険性も危惧され、教員たちが見守りしているとのことですが、負担感としてはどのような認識がありますか。

⇒みどりの南小中学校とは2kmあり自転車で行かせている。自転車利用増のため自転車業者をスポンサーになってもらう予定。

- ④学校と委託先、教員と外部コーチとのコミュニケーションについて、定例の協議等はどのように行っていますか。

⇒週に一度、教員と外部コーチで集まり、情報を共有する時間をとっている。当初は生徒を外部に任せることに教員から反対意見あった。生徒指導面など協力、情報交換に努めている。教員は定期的に部活動を見に行き生徒の特性を把握するようにしている。

- ⑤ 1クラブあたり、何人体制で指導にあたっていますか。仮に指導者が一人のとき、安全面などの課題はありますか。

⇒1クラブあたり1名が基本。種目によって2名配置。他の部活動と横の繋がりを持つようにしており、5分で駆けつけられる場所に複数名いる。

- ⑥生徒側としては、部活の種目の選択肢や専門的指導といったニーズだけでなく、取り組みの度合い（例：大会等で優勝したい、レクリエーション目的、土日は参加を希望しない、など）についてのニーズも多様化していると思います。地域移行した部活動では、どのような方針の競技指導を行っていますか？

⇒トップレベルを目指すのは企業運営のクラブチームで、地域移行では競技志向よりも、スポーツをやるきっかけづくり、魅力を感じてもらうこと、交流に重きを置くようにしている。市ではクラブチーム対象の大会を開催し、より多くの生徒が試合できるようにトーナメント形式ではなくリーグ戦総当たり形式にしている。中体連の会議に委託業者が参加し情報共有している。

- ⑦教員の時間外勤務の量は、地域移行の前後でどう変化しましたか？

⇒16:00～18:30を事務作業や翌日の準備等に充てられるようになった。

- ⑧実施をしてみて、費用面以外の理由で、保護者や生徒から「地域移行する前のほうがよかった」という意見はありますか？あった場合、その理由はどのようなものですか？

⇒教員よりも断然教え方が上手く技術的向上したとの評価あり。

- ⑨予算的な余裕に恵まれていたとしたら、どのようなことがしたいですか。

⇒事業者の委託費、指導者謝金、保護者の負担減など。その他として移動支援、体育館の空調整備、ナイター設備など

- ⑩他の学校においても同様の取り組みをされる予定はありますか。

⇒エンボスのような企業は全国的にも稀。他に地域に根差した企業が出てくれば可能。

(再質問) そのような企業はありますか？

⇒なくはないと思う。スポーツ事業に力を入れている企業はある。

- ⑪本制度導入による学区内や、つくば市全体の人口社会増の影響などについて、どのように認識していますか。

⇒部活動の地域移行で人気が増えたということではない。つくばエクスプレスによる人口増でそもそも生徒が増えている。学区の変更予定はないが柔軟に対応していく。

⑫民間の指導者等の方に対しては、就労機会の提供となっているでしょうか？
なっているとした場合、市内経済への好影響などを感じられていますか？

⇒今のところはそこまで至っていないと思う。

⑬目下の課題として、最優先課題はどのようなものがありますか。

⇒他の運営団体、指導者の確保。市内部に特化した部署があるとよい。

7 所感

○そもそも、国策による学園都市で専門的な人材に恵まれており、つくばエクスプレス開業などで人口も増えていることから、そのまま他地域で活用できる取り組みではないが、指導者の確保など同様の課題もある。

○地域移行する際には、競技志向からコミュニティづくりや交流、スポーツ文化活動に親しむことなど、部活動のあり方を見直す必要がある。

○民間事業者による会員制、有料化に対して保護者からの反対はあまりないように見受けられる。「教員よりも断然教え方が上手い」との意見から、より専門性の高い指導を受けられるためであると推測される。

以上、ご協力いただいたつくば市の関係各位に感謝を申し上げ報告とする。



領 収 書

②

鹿沼市議会 経世会 殿

令和 7 年 1 月 18 日

下記の通り領収いたしました

和洋生菓子

一 風 流

錦京堂本店

鹿沼市戸張町 電話 (0289) 62-2327

T 881026736 8734

合計金額 ￥ 8,000

月	日	品 名	数 量	単 価	金 額	摘 要
		いちご大福	2折	4,000	8,000	

(領収印なきものは無効)

領 収 書

③

鹿沼市議会 経世会 殿

令和 7 年 1 月 18 日

下記の通り領収いたしました

和洋生菓子

一 風 流

錦京堂本店

鹿沼市戸張町 電話 (0289) 62-2327

T 881026736 8734

合計金額 ￥ 2,920

月	日	品 名	数 量	単 価	金 額	摘 要
		送料	2口	1460	2920	

(領収印なきものは無効)

4

領 収 証

No 004320

鹿沼市議会経世会様

令和 7 年 1 月 14 日

¥ 556,620.-

但し 1/20 以降 又 泊 3 日

上記の金額正に領収いたしました。



内 訳

現金	✓
小切手	
手 形	/
相 殺	

旅ペリーかぬま

有限会社 旅ペリーかぬま

〒322-0055 栃木県鹿沼市石橋町1600-1

TEL:0289-60-5801 FAX:0289-60-5805

担 当

5

9

10

利用明細書

No.1475

2025年 1月22日 19:46

入口料金所 浦和本線 (下り)

出口料金所 都賀西方スヤート

中型車

通行料金 ¥2950円

合計 ¥2950円

利用明細書

No.1476

2025年 1月22日 18:37

入口料金所 空港中央東

出口料金所 東北道接続

車種 中型車

通行料金 ¥1960円

合計 ¥1960円

利用明細書

No.1477

2025年 1月21日 15:46

入口料金所 石川

出口料金所 那覇

車種 普通車

通行料金 ¥650円

合計 ¥650円

案内品書 (領収書)

事業番番号: T6360001008414

株式会社 東日産自動車

豊見城南が丘店

沖縄県豊見城市名嘉地259-7

TEL:098-866-7775

SS-20001

2025年01月22日 10:41 通番1117

4-20001-000000 現金

様 *

00026 レギュラー P04 ¥4083
数量 21.49(L)
単価 @190

合計 ¥4,083
(内税)消費税 ¥371
(10%税込対象額 ¥4083)

お預り ¥7,000
(10%消費税 ¥371)

お釣り ¥2,917
0091-0091 02/2025/01/22

上記にて領収書に替えさせていただきます

◆◆ 領 収 書 ◆◆
2025年01月22日 10:41

2,917円



2054102011172

精算機に本レシートをかざして
お釣りをお受け取り下さい。

8

④ 明細

請 求 書

№ 003725

令和
平成

7年 / 月 10日

鹿沼市議会経世会様

下記の通りご請求申し上げます


 有限会社 旅ベリーかぬま
 〒322-0055 栃木県鹿沼市石碓町1600
 TEL.0289-60-5301 FAX.0289-60-5805

税込合計金額 ￥ 556,620.-

月日	品名	数量	単価	金額(税抜・税込)
1/20	宿泊代	5	31500	157500
2	航空券代	5	53000	265000
3	レンタカー	1	43120	43120
4	羽田往復	1	86000	86000
5	通信料配代	5	1000	5000
6				

月日	品名	数量	単価	金額(税抜・税込)
7				
8				
9				
10				
11				
	合 計			556620

備考

- ・ 宿泊代 行政視察地2泊宿泊費用
- ・ 航空券代 羽田ー那覇 往復航空券費用
- ・ レンタカー 行政視察地（沖縄県内）レンタカー
- ・ 羽田往復 鹿沼ー羽田 往復タクシー費用

6

領収書 RECEIPT



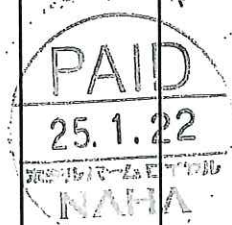
ホテルパームロイヤルNAHA

〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-9-10
3-9-10, Makishi, Naha-city, Okinawa 900-0013, Japan
TEL : 098-865-5551 FAX : 098-866-7711
登録番号 T6360001015402

1/1

部屋番号 ROOM No. 1010	お名前 NAME 鹿沼市議会 経世会 Mr. Ms. 様	ご人数 PERSONS 1
ご到着日 ARRIVAL 01/21	ご出発日 DEPARTURE 01/22	備考 REMARKS
		発行日時 DAY TIME ISSUED 25/01/22 08:37:57

日付 DATE	部屋番号 ROOM No.	ご利用明細 EXPLANATION	ご利用金額 AMOUNT	お預り金額 PAYMENT	備考 REMARKS
01/21	1010	駐車場 10%対象 (内消費税 ¥1,500 ¥136)	1,500		



会計係

上記金額には消費税が含まれております。
A consumption tax is included in an above amount of money.

ご署名
SIGNATURE

ご利用金額
AMOUNT 1,500

内消費税
TAX 136

お預り金
PAYMENT 0

ご請求額
BALANCE 1,500

収
入
印
紙

385357-CO
現金

経世会行政視察報告書

日 時 令和7年1月20日(月)～22日(水)

場 所 沖縄県浦添市

沖縄県読谷村

沖縄県宮海軍壕公園

視察者 鹿沼市議会経世会 館野 裕昭

小島 実

石川 さやか

大貫 桂一

橋本 勝浩

【背 景】

総合福祉対策とは、社会全体の福祉水準を向上させるために、さまざまな福祉分野を総合的に捉えて、包括的に実施される施策のことを指し、日本における総合福祉対策の現状と課題を考える場合、以下のような点が挙げられる。

① 高齢化社会への対応 日本は急速に高齢化が進み、高齢者の福祉ニーズが増加しており、これに対応するため介護保険制度や地域包括ケアシステムなどが整備されているが、まだ完全にカバーできていない部分も多い。

② 障がい者福祉の進展 障がい者の権利を保障するための法整備（障がい者基本法や障がい者差別解消法など）も進み、障がい者の社会参加や就労支援も強化されているが、就労機会や支援の質には地域差があり課題も残っている。

③ 子ども・家庭福祉 子どもの貧困や虐待の問題も重要な課題で、子ども家

庭支援センターや児童福祉施設の充実、児童扶養手当の支給などが進んでいるが、貧困層の支援や家庭環境の改善は依然として大きな課題といえる。

④ 精神障がい者支援 精神障がい者への支援は、医療的な治療に加えて、社会参加を促進するための取り組みが求められているが、特に地域での支援体制の強化が必要である。

これらの点を踏まえ、従来の福祉制度は「支援を必要とする状況になってからの対応」が多いが、これからは予防的な支援や早期の介入が求められ、例えば、健康維持や精神的な支援を通じて、社会的な孤立を防ぐ施策が重要と思われる。今回、鹿沼市において特に後手に回りがちな④精神障がい者（児）への支援及び先進的取組み事例を視察し、今後の鹿沼市における施策検討の参考にしたい。

また沖縄県は愛護動物の保護についても積極的である。最近、鹿沼市内においても飼い主のいない、いわゆる野良猫の増加およびこれに伴う地域環境への悪影響が度々問題となっている。一方で殺処分ゼロを目指す取り組みは動物福祉の観点から非常に重要な課題であり、日本では毎年多くの犬や猫が殺処分されているため、これを減らすための様々な施策も進められている。しかし、依然として殺処分ゼロには多くの課題があり、以下に現在の取り組み状況と課題を整理する。

① 避妊・去勢手術の推進 動物の過剰な繁殖を防ぐために、避妊や去勢手術

が推奨されており、自治体によっては費用の一部を助成する制度を設け、飼い主に対して手術を促す取り組みが行われている。

② 譲渡活動の強化 動物保護団体や自治体の動物愛護センターでは、殺処分を減らすために譲渡活動を活発に行っている。譲渡会や SNS を活用して、新たな飼い主を見つけるための広報活動が展開されていて、譲渡前に健康チェックやしつけ、飼い主への適切なアドバイスも併せて行われている。

③ 動物愛護法の改正 近年、動物愛護法が強化され、飼い主に対して動物の適切な管理責任が求められるようになっている。また、繁殖業者やペットショップに対しても規制が強化され、不適切な繁殖や販売が減少するよう取り組みが進んでいる。

④ 地域猫活動の推進 野良猫の数を減らすために「地域猫活動」が推進されている。これは、地域で協力して野良猫の避妊・去勢を行い、個体数を管理する活動で、地域住民が積極的に参加し、野良猫を増やさないようにしている。

これらの取組みの中で、鹿沼市として遅れている②譲渡活動について視察対象とした。動物を譲渡する際には、新しい飼い主が十分に責任を持って飼育できるかどうか重要だが、譲渡希望者の中には、飼い主としての適性が不足している場合もあり、譲渡後のトラブルや返還が発生することもある。このため譲渡活動を行う団体や自治体には、慎重な選定とサポートが求められ、これらの自治体における先進的事例を視察し今後の施策に役立たせたい。

さらに、今年戦後 80 年という節目の年を迎え、沖縄にとっては特に深い意味を持つ年となり、太平洋戦争の末期に、激しい戦闘が繰り広げられ、多くの命が奪われたその歴史と、戦後の沖縄の復興と現状について触れることは大切なことと思われる。

沖縄戦（1945 年 4 月 1 日～6 月 23 日）は、日本本土決戦を前にアメリカ軍が沖縄に上陸し、約 3 ヶ月間にわたる激戦が繰り広げられた、民間人を巻き込んだ戦争であり、多くの民間人が犠牲となり、戦後もその影響が沖縄の人々の生活に深く残っている。沖縄戦での死者は、軍人だけでなく、民間人も含めて約 20 万人以上とも言われ、多くが住民の生活の基盤を一瞬にして奪われている。戦後、沖縄は日本本土と異なり、アメリカによる占領が続いたが、1952 年にサンフランシスコ平和条約が発効し、日本全土が主権を回復した一方で、沖縄はアメリカの施政権下に残り、1960 年代に入っても依然としてアメリカの支配下にあった。沖縄が日本に復帰したのは 1972 年、約 27 年間にわたるアメリカの占領下から脱して、日本に復帰することができたが、その後も沖縄の歴史や文化、そしてアメリカ軍基地問題など、独特の課題が存在している。

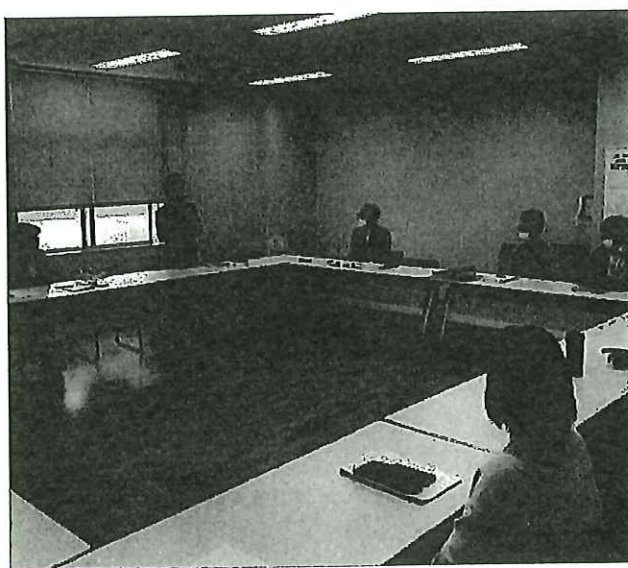
沖縄は、現在もアメリカ軍の基地が多く存在し、その面積は日本全土の基地面積の約 70%を占めている。この基地の存在は、沖縄の経済や社会に大きな影響を与え続けている。基地周辺では騒音や事故、環境問題などが住民に影響を及ぼしており、また、基地の集中によって沖縄の土地が基地用地として占められ、開発や居住地として使える土地が少なくなっている。この基地問題は、沖

縄県民にとって長年の問題であり、毎年、沖縄戦の追悼行事などで「基地の縮小」「米軍基地の返還」などの声が上がっているのが現状である。戦後 80 年を迎え、沖縄は復興を遂げ、多くの面で発展を遂げ、観光業が盛んになり、地域経済も成長している。しかし、依然として基地問題は沖縄の最大の課題であり、沖縄の歴史とその戦後の復興、そして今後の発展をどう考えていくかは重要なテーマとなっている。

戦後 80 年を迎えた今、沖縄にとっては、過去の歴史を振り返りつつ、未来に向けてどう進むべきかという問いが重要で、基地問題をはじめ、地域の経済や社会の発展、そして平和の大切さを次世代にどう引き継ぐかが課題となっている。今回、戦争遺産の象徴の一つを視察し、直接現地で空気感などに触れる機会を通じ、戦後 50 年の節目の年となる平成 7 年 8 月 15 日に平和都市を宣言した鹿沼市における、平和で豊かな未来を築くための一助にしたい。

【沖縄県浦添市の概要（行政視察①）】

沖縄県浦添市（おきなわけん うらそえし）は、沖縄本島の中部に位置する都市で、那覇市の北西に隣接している。浦添市は沖縄の中でも比較的発展したエリアであり、都市と自然が調和



した特徴的な場所で、海に面し豊かな自然環境に囲まれている。市内には浦添大公園や前田高地など、観光スポットとしても知られる場所がある。また沖縄の歴史的な背景を持つ地域で、特に琉球王国時代の名残を色濃く残している。商業や観光業を中心に発展しており、那覇市へのアクセスの良さから、住宅地としても人気がある。一方、浦添市には米軍基地も存在していて、特に浦添港地区にある米軍の施設が有名である。これらの基地は、沖縄全体に広がる米軍基地の一部であり、浦添市内でも重要な役割を果たしている。これは主に米軍が使用する飛行場で、緊急の航空支援や訓練のために使われていて、周囲の住民との距離も近いため騒音などの影響が問題となることがある。基地の土地問題や返還問題は沖縄全体で長年続いており、浦添市もその影響を受けながら、米軍基地の返還や縮小、地域住民の安全確保といった課題が現在も議論されている。



【行政視察内容】

日時 令和7年1月20日(月) 14時00から16時00分

場所 浦添市障がい福祉関連複合施設 「ピアラルうらそえ」

対応 浦添市議会事務局主任主事 仲地政直 様

浦添市福祉健康部障がい福祉課支援給付係長 河野祐哉 様

浦添市福祉健康部障がい福祉課支援給付係 宮島 尋 様

浦添市ピアラルうらそえ施設管理責任者(医師) 勝連啓介 様

浦添市ピアラルうらそえ発達相談クリニック 平安良次 様

浦添市社会福祉協議会子ども支援課長 池村みどり 様

概要 「ピアラルうらそえ」は障がい福祉関連の複合施設で、2021年4月1日に開所した。

幼少期から成人期までの障がい児・者に対する一貫した福祉・保健・医療の継続支援と、地域相談支援の強化を目的としている。主な機能としては以下の3つで、①児童発達支援センター（発達に不安のある子どもたちへの療育や学習支援）、②障がい者（児）基幹相談支援センター（障がい者やその家族からの相談を受け、適切な支援や情報提供）、③親子通園型発達教室（未就学児とその保護者が一緒に通い、発達支援や親子の交流を促進）。これらの機能によ



り、発達障がい児の早期発見と適切な療育、障がい者の就労支援など、幅広いサポートを提供している。施設の運営は、医療法人へいあんと浦添市社会福祉協議会が共同で行っており、専門医の配置により迅速な診断体制を構築している。そして障がいの有無に関わらず、地域の誰もが

安心して相談や支援を受けられる場として、福祉のまちづくりに貢献している。

考察 ①浦添市の障がい者福祉施策の現状等について

他の市町村同様、障がい児へのアプローチはプライバシー保護との関係から後手に回ることが多く、加えてより高度な医療支援ともなると受診までかなりの日数を要し、このため本格的な支援に至らないケースも多かった。この解消に向け複合支援施設の開設に至っている。より望ましい予防的な支援や早期の介入が実践されており、また幼児期から成人期まで一貫性のある継続した相談支援サービスを提供している。同じ悩みを抱える市民の心強い味方として、十分に役割を担っていて、導入検討に値する施設と思われる。一方、施設管理責任者の勝連医師の役割、存在が極めて大きく、後継者の育成が最大の課題との説明に納得することである。

②「ピアラルうらそえ」の整備手法について

施設概要として、4階建て鉄筋コンクリート造で床面積 2,400 m²、土地購入費込みの整備費用は約 9.2 億円。「防衛省施設周辺整備助成事業」の補助金を活用し補助率は 2/3。近隣の米軍普天間飛行場の関連地域との位置づけで整備され、航空機事故等の緊急避難施設としての機能も有している。浦添市特有の背景における整備であることから、通常所管している厚生労働省との交渉は行っておらず、そのためある程度、市民意向に則した整備、運用が期待できると思われる。他の地域への同様な整備手法の適用は難しい反面、米軍基地を抱える

市民生活の実情に触れることが出来て有益であった。

③「ピアラルうらそえ」の管理について

浦添市は平成 20 年に「子どものまちてだこ宣言」、平成 27 年に「てだこキッズファースト宣言」をし、子どもの幸せを最優先にする地域社会を目指している。この様な中、医療法人へいあんは 50 年以上前から精神科医療に従事してきたが、近年では発達障がいの診療と家族支援に積極的に関わり、付帯事業として相談支援事業所を構え、子育て世代から高齢者まで幅広く対応している。これらの背景から、浦添市社会福祉協議会と医療法人へいあんの共同事業体を設立し、浦添市と指定管理業務委託を締結し運営にあたっている。

独立採算を基本としているが、実質的には共同事業体の持ち出し部分も多く、今後の課題とすることである。特筆内容として「そだちのひろば うぐい

す」は受給者証不要で療育前の支援が受けられ、その後状況に応じた無理のない療育への橋渡し役を担っていて、初期導入対応としてとても参考になる取組みと考えられる。



【読谷村の概要（行政視察②）】

読谷村（よみたんそん）は、那覇市から車で約1時間程度の沖縄県中部に位置する村で、日本最大の村として知られている。沖縄本島中部の西海岸というロケーションから、亜熱帯海洋性気候に属する、温暖な気候と美しい自然が特徴的で



ある。琉球王国時代には重要な拠点の一つで、伝統的な文化や遺跡が数多く残っていて、座喜味城跡は、琉球王国時代の城（グスク）で、ユネスコ世界遺産にも登録されている。観光地としては、美しい夕日と断崖絶壁、灯台が特徴的な残波岬や「むら咲むら」の琉球文化を体験できるテーマパーク、読谷村ガラス工房などが有名。村全体が緑豊かで、海岸線には透明度の高いビーチが広がっている。また地元の農産物や海産物を活かした料理が多く、特に「沖縄そば」や「島豆腐」が有名。

【行政視察内容】

日時 令和7年1月21日(火) 10時00から12時00分

場所 読谷村役所内会議室

対応 読谷村村議会議長 伊波 篤 様

読谷村議会事務局課長補佐兼議事係長 儀保一樹 様

読谷村総務部生活環境課長 當山 剛 様

読谷村総務部生活環境課環境衛生係長 玉城綱紀 様

概要 読谷村では、犬の殺処分ゼロを目指し、2019年に「読谷村犬取締条例」を一部改正した。これにより、村内で保護された飼い主不明の犬を、県の愛護センターに移送せず、村が直接譲渡できるようになった。地元の沖縄タイムスにもこの取り組みが紹介され、村をあげての活動となっている。また読谷村は「読谷村犬の譲渡実施要綱」を制定し、譲渡に関する詳細な基準や手続きを定めていて、主な内容は以下の通りである。

譲渡対象者の条件：

読谷村に住所を有する20歳以上の成人であること。

一人暮らしの場合、代わりに世話ができる人がいること。

集合住宅や借家の場合、ペットの飼育が許可されていることを証明できる書類を提出できること。

先住犬が1頭以下であること。

家族全員の同意が得られていること。

譲渡された犬を適切に終生飼養できること。

不妊・去勢手術を行うよう努めること。

狂犬病予防法や動物愛護管理法などの関連法令を遵守すること。

譲渡後の管理において、行政からの指示・指導に従うこと。

譲渡後の追跡調査に協力すること。

譲渡を希望される方は読谷村役場の生活環境課窓口または電話で問い合わせが出来る。また「一般社団法人 読谷村ワンワン倶楽部」とも協力し、保護犬の新しい飼い主を探す活動を行っている。この団体は、保護犬のレスキューや新しい家族の募集、犬の正しい飼い方やマナーの普及活動を行っている。（但し令和6年度からは活動休止中）これらの取り組みにより、読谷村は地域全体で犬の適正飼養と殺処分ゼロを目指している。

考察 ①読谷村における「読谷村犬取り締条例」「読谷村犬の譲渡要綱」について

本条例は、犬のよる人身の咬傷、農作物、家畜その他への被害を防止することを目的としている。当時、犬の放し飼いが多く、また飼い主も探す風潮もなかったため、かなりの数のいわゆる野犬が捕獲され、処分されていた。この流れに対し、FMよみたん及びボランティア団体との連携が強まり、動物愛護行政の動きも加わり、要綱の制定に至っている。ここで特に地域ボランティアの存在は大きく、行政としてはこれに支援する体制を整備している。

②「読谷村犬の譲渡実施要項」における具体的取組みについて

条例では捕獲後4日間の係留後、飼い主等が見つからない場合は処分対象としているが、実際には先述のボランティア団体「一般社団法人読谷村ワンワン倶楽部」でその後預かり、継続的に飼い主や譲渡先を探している。平成30年

度の動物愛護センターへの移送件数 10 頭に対し、令和 3 年度からは 0 頭となっている。一方、このボランティア団体の活動が令和 6 年度で活動を休止しており、この役割を担う団体等の育成や個人譲渡の強化が課題である。

③読谷村における地域猫活動について

読谷村では「さくらねこ無料不妊手術事業」に全面的に協力し、地域猫（野良猫）の殺処分を減らし、共生を目指すための活動を行っている。当事業は公益財団法人「どうぶつ基金」が行っている全国的な取り組みで、この事業では、野良猫に対して無料で不妊・去勢手術を提供している。手術



後、猫は耳先に「さくら耳」と呼ばれる V 字カットを施され、これにより、すでに手術済みであることがひと目でわかるようになり、重複手術や殺処分の防止に役立っている。対象地域は日本全国であるが、地域によっては行政との連携が必要な場合があり、また野良猫（地域猫）ではない飼い猫や個人所有の猫は対象外となっている。村内における令和元年度からの活動実績は約 1,000 頭で、飼い主のいない猫に関わる苦情や殺処分の減少に大きく寄与しており、

鹿沼市でも参考になると考える。



【行政視察内容（行政視察③）】

日時 令和7年1月22日(水) 10時00から12時00分

場所 沖縄県営海軍壕公園

概要及び考察 沖縄県営海軍壕公園は、沖縄県豊見城市に位置する平和公園で、沖縄戦中に旧日本海軍の司令部として使用された「海軍司令部壕」を保存し、平和の大切さを後世に伝えるために整備された。第二次世界大戦中、沖縄戦で日本海軍が司令部として使用した地下壕で、壕内は手掘りで作られ、司令室

や通信室などがそのまま保存されている。大田実少将（海軍司令官）が自決した部屋も含まれ、戦争の悲惨さを直接感じることができる。歴史的な資料や写



真も展示されており、戦時中の状況を学ぶことができ、また公園内には平和を
祈念するモニュメントが設置され、整備された遊歩道からは沖縄の美しい景色
も楽しむことができる。壕内では多くの兵士が戦
い、最終的には大田実少将をはじめ多くの司令部
要員が自決した。壕内に残る手榴弾の痕跡や当時
のままの壁は、戦争の悲惨さを物語っており、戦
争の歴史や平和の重要性について学ぶための教育
の場として最適と思われる。特に壕内は湿気があ
り、より生々しい沖縄戦、戦争の悲惨さ、そして
平和教育の大切さを本視察を通じ痛感した。



まとめ

行政視察地2市村及び1施設における、障がい者福祉施設、犬殺処分ゼロな
どの先進的な取り組み及び、戦争遺産を研修した結果は以下の5点に集約す
る。今後も引き続き、日本各地で試行錯誤されている先進的取り組み事例等に関
心を持ち、本市における将来への備えに寄与したい。

- ① 障がいのある方への対応においては、幼少期から成人期までの一貫性の
ある継続支援が重要で、その拠点整備はとても大切
- ② ①を運営するうえでのポイントは医師等有資格者の確保

- ③ 犬の譲渡などを通じた、捕獲された犬等の殺処分ゼロの取り組みは、この活動を推進するボランティア団体との協働が基本
- ④ ③における行政側の取り組みは、活動しやすい環境づくりなど後方支援
- ⑤ 戦後 80 年という節目にあたり、その社会的教育においては現場を見ることは何より大切

旧海軍司令部跡
TEL: 098-850-4055

領収証

呼出番号 1003

レシート# 411868
店舗# 0001 端末# 41
2025/01/22(水) 09:26

個人扱い大人 ¥600
個人扱い大人 ¥600
個人扱い大人 ¥600
個人扱い大人 ¥600
個人扱い大人 ¥600

合計 ¥3,000
お預り ¥3,000
お約 ¥0

(税率10% 対象額 ¥2,728)
(消費税等 10% ¥272)

ご利用ありがとうございました。
事業者登録番号: T4360005000170

振替払込請求書兼受領証(振込金(兼手数料)受領書)

この受領証は、大切に保管してください。

日本教育新聞社							
千	百	十	万	千	百	十	円
				1	6	5	0
銀行							支店
おなまえ							532125
ご依頼人							石川 さやか
料金							円
備考							

(ゆうちょ銀行)

CVS 収納用収入印紙貼付欄

(お客様控)

お問合せNo.

全戸

区域

領収書

鹿沼市議会経世会様

お名前

R6年4月分~R7年3月分

金額	部数	金額
1		
2		
3		
合計		46,800

領収日 2025年3月31日
ご購入有り難うございます。



読売センター鹿沼中央
鹿沼市千手町2564-8
TEL (0289) 62-2428
FAX (0289) 62-2972

領収証

No.

鹿沼市議会経世会様

2025年3月31日

★ ¥46,800-

但下野新聞購読料 (R6年4月~R7年3月分)
@3,900×11ヶ月

上記正に領収いたしました

内訳

税抜金額 ¥43,333

消費税額等(8%) ¥3,467

登録番号 T6060002019639

有限会社 宇賀神

代表取締役 宇賀神 麻

鹿沼市貝島町612

TEL (0289) 64-4700



12

領 収 証

鹿沼市議会 経世会 様
(コード: 39-532125)

金 額 : ¥16,500-

【 10%対象 ¥15,000- 消費税 ¥1,500- 】

但し 日本教育新聞 購読料

購読期間(年月) : 2024年10月 ~ 2025年3月

支払方法 : コンビニエンスストア払い

領収日 : 2024/10/28

上記の金額正に領収いたしました

株式会社日本教育新聞社
東京都港区白金台3-2-10
TEL 03-3280-7025
登録番号 T3010401056182



印 収
紙 入

扱
者
印

領収証

No. _____

14

鹿沼市議会 経世会 様

2025 年 3 月 24 日

金額

¥ 4 6 8 0 0

但 ☒ 下野新聞 2024年4月~2025年3月分☐ 飲食料品等(軽減税率対象)

上記正に領収いたしました

内

8%(税込・税抜)金額 消費税額等

43,334 / 3466

10%(税込・税抜)金額 消費税額等

/



株式会社 瀬谷新聞店

■ 鹿沼店 栃木県鹿沼市下田町1-1021-203
■ 安塚店・雀宮西店 栃木県下都賀郡壬生町安塚1168-57
TEL 0289-60-2855 / FAX 0289-64-7255

現金・カード・()

#HISAGO#779

登録番号

登録番号 T6060001010994

領収証

No. _____

15

鹿沼市議会 経世会 様

2025 年 3 月 24 日

金額

¥ 4 6 8 0 0

但 ☒ 下野新聞 2024年4月~2025年3月分☐ 飲食料品等(軽減税率対象)

上記正に領収いたしました

内

8%(税込・税抜)金額 消費税額等

43,334 / 3466

10%(税込・税抜)金額 消費税額等

/



株式会社 瀬谷新聞店

■ 鹿沼店 栃木県鹿沼市下田町1-1021-203
■ 安塚店・雀宮西店 栃木県下都賀郡壬生町安塚1168-57
TEL 0289-60-2855 / FAX 0289-64-7255

現金・カード・()

#HISAGO#779

登録番号

登録番号 T6060001010994

***** 領 収 証 *****

No. _____

18

鹿沼市議会 経世会 様

2025 年 3 月 13 日

金額

¥ 6 4, 9 0 0

但し タブレット用キーボード 1台のみ

上記の金額正に領収いたしました

内 訳

現金 64,900.-

小切手 /

手形 /

株式会社

代表取締役 瀬 江

本 社 栃木県鹿沼市上材木町1785-8

P C 栃木県鹿沼市御成橋町2丁目2153-8

Tel.0289-62-8585(代) Fax.0289-62-8989

消費税等(10%) 5,900.-

登録番号 T7060002021338

17

領 収 証

No. _____

経世会 様

金額			百		千		円
			¥	3	5	0	000-

但し 消費税 10% 会派ラジ印代に

上記金額正に領収致しました。

令和 7 年 3 月 24 日

内	現金	¥
	小切手	¥
	約 手	¥
訳	振 込	¥
	相 殺	¥
	合 計	¥

登録番号 T4-0600-0202-1101

有限会社 吉村印刷

〒322-0067 栃木県鹿沼市天神町

TEL (0289) 65-1139

FAX (0289) 65-1139



19

領 収 証

No. _____

経世会 様

★ ¥ 10,946-

但 インターネット利用料(令和 6 年 4 月分~令和 7 年 3 月分)

令和 7 年 3 月 10 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

栃木県鹿沼市上野町 281 番地 4

鹿沼ケーブルテレビ株式会社

代表取締役社長 田 濤

TEL (0289) 63-0005

適格請求書事業者番号: T5060001010351



鹿沼市議会 経世会

2025年3月29日発行
発行責任者 舘野 裕昭



去る3月7日、会派として20項目の要望を松井市長に対し提出いたしました。昨年6月の市長就任後としては初めてとなり、また令和7年度中の鹿沼市総合計画の見直し策定を控え、市政全般に係る内容であります。その主な内容は下記の通りです。

回答は次号の会派広報誌で報告させていただきますが、今後もより多くの市民の皆さまのご意見やご要望を丁寧に向い、一つでも多く市政に反映してもらえよう、経世会として一丸となって精進して参ります。引き続きのご指導、ご支援よろしくお願いいたします。



経世会代表
舘野 裕昭

令和7年3月提出 経世会の主要望事項

舘野議員

- 国道121号、国道293号（楡木バイパス）、及び国道352号の道路網を生かした、鹿沼市の将来道路網を構築すること
- スマートインターチェンジの設置に関する取り組みを加速させること
- 鹿沼インター産業団地や宇都宮西中核工業団地、壬生羽生田産業団地のアクセス強化を図ること

小島議員

- 思川開発事業・南摩ダム完成後を見据え、観光資源の掘り起こしや回遊策を整え、水源地域を拠点とする西北部の活性化を積極的に進めること
- 森林資源の有効活用のため、森林多面的機能支援交付金を増額し、作業道の整備促進や協力体制整備への支援を積極的に行うこと
- 野生鳥獣対策として、個人及び共同での設置するワイヤーメッシュや電気柵の永続的な設置推進やメンテナンス支援、猟友会の人材確保支援を行うこと

石川議員

- 新鹿沼駅西側への公衆トイレの設置と、駅東側に高校生をはじめ、市民が集える憩いの場を創出し、新鹿沼駅周辺の活性化を図ること
- 産後ケアを実施する医療機関が永続的に事業を継続できるよう、支援拡充を図り、安心して子どもを産み育てられる環境整備を行うこと
- 発達障がいや不登校、引きこもりに対する適切な理解を促進し、支援者の輪を広げ、支援拡充を図ること

大貫議員

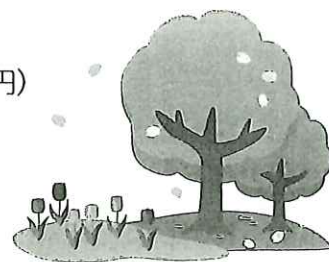
- 西北部地域への企業誘致及び農業用地の転用を速やかに進める方策を推進することで人口減少に歯止めをかけ、財政基盤の安定化を図ること
- 花木センターの業務内容縮小化を図り、さつき生産者への対策強化と施設の改修を進め、民営化を推進すること
- 高齢者が安心して買い物等外出できるよう、予約バス・地域共助型交通の運行エリア拡大や、タクシー助成券の利用者枠の拡大を図ること

橋本議員

- 食の自立支援事業において、配食サービス提供者の拡大を行い、利用者の利便性向上と費用効率化を図ること
- 生活道路、通学路において、用水路への転落防止などの交通安全施設を推進すること
- ゴルフ場利用税交付金を活用し、ゴルフ場を交流拠点としたイベントの開催等を支援し、地域の活性化を推進すること

令和7年度の主な事業内容 ～経世会 choice 10～

出産・子育て応援金を20万円に倍増（1億600万円）
体育館への空調整備（4億3,918万円）
学習用タブレットの更新（6,365万円）
ひきこもり地域支援センターの設置（2,303万円）
市内に就職した若者への新卒者就職祝金や奨学金返還支援の実施（900万円）
物価高騰対策 プレミアム付商品券の発行支援（6,600万円）
キャッシュレス決済ポイント還元の実施（1億円）
鹿沼インター産業団地の整備 西地区調査設計業務（5,185万円）
大芦川観光公害対策 パトロールの実施等（249万円）
合葬墓の整備（7,116万円）



議会報告会・意見交換会

昨年11月、鹿沼市議会としての議会報告会・意見交換会を12地区(全17地区中)で開催することができました。いただいたご意見は①現地調査等を行い市長から回答を求めるもの②議会への意見③情報提供を含む意見として伺ったものの3つに分類し、必要か所では迅速に各班の議員が現地調査をし、全体として情報共有を行うことができました。現在は市からの回答待ちです。

（報告書等の詳細は鹿沼市のHPをご覧ください）



また、12地区中3地区では、議員定数に対する厳しいご意見を頂戴しました。

私たち経世会は、一貫して「議員定数20名」を提唱しており、現在設置されている議会改革特別委員会の中で、引き続き協議を続けてまいります。



経世会 行政視察報告①

高齢化に関する課題への取り組み状況等について、秋田県横手市及び岩手県滝沢市における、地域包括ケアシステムの構築を通じた、対策対応について研修しました。結果は以下の4点に集約できると思われる。今後も引き続き、日本各地で試行錯誤されている先進的事例を研修し、本市における将来への備えに寄与したいと考えております。

- ① 活動主体（協議体）のゾーニングと担い手の確保は一体的に考える
- ② 必要に応じ、民間事業者の活用も検討に値する
- ③ 認知症対応はエリア分けせず、各種会議に横断的に取り入れる
- ④ 家族の絆や地域の絆といった基本的な原点に戻ることも大切

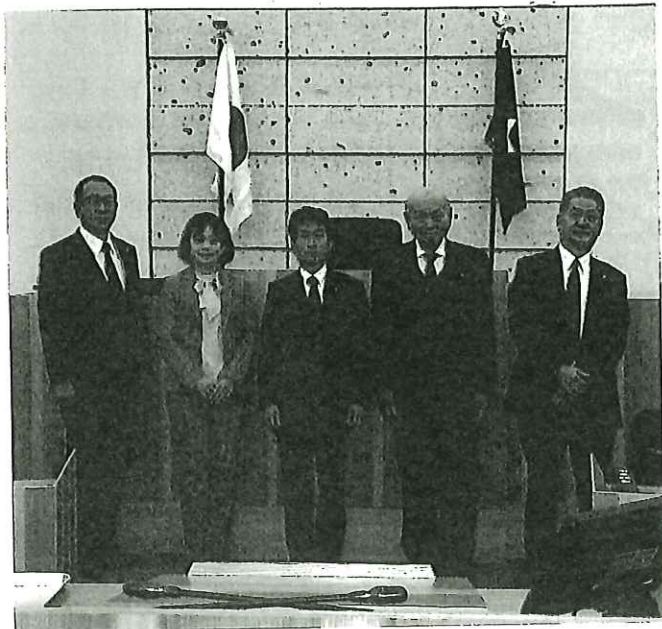


経世会 行政視察報告②

鹿沼市において更なる取り組みが必要と思われる、障がい者福祉施設、犬殺処分ゼロなどの先進的な取り組みについて、沖縄県浦添市及び読谷村にて研修しました。結果は以下の5点に集約いたします。今後も引き続き、日本各地で試行錯誤されている先進的取り組み事例等に関心を持ち、研修を通じて、本市における将来へ提言の参考にしたいと思います。

- ① 障がいのある方への対応においては、幼少期から成人期までの一貫性のある継続支援が重要で、その拠点整備はととても大切
- ② ①を運営するうえでのポイントは医師等有資格者の確保
- ③ 犬の譲渡などを通じた、捕獲された犬等の殺処分ゼロの取り組みは、この活動を推進するボランティア団体との協働が基本
- ④ ③における行政側の取り組みは、活動しやすい環境づくりなど後方支援
- ⑤ 戦後80年という節目にあたり、その社会的教育においては現場を見ることは何より大切





経世会議員 市政一般質問

令和3年9月議会より、現在の議場にて年4回の定例会を行っています。鹿沼の認証材をふんだんに使用し、議長席の後ろの壁には深岩石が貼ってあり、鹿沼らしさを表現した、厳かな雰囲気の中にも温かみのある議場です。一般質問などは予約無しで傍聴できますので、是非ともお寄り頂ければと思います。

石川さやか(3期)

住所：鹿沼市天神町 1706-7
TEL:0289-63-1127
mail:saya926ka45@gmail.com
鹿沼市議会 副議長
総務常任委員会 委員



質問 公営霊園における樹木葬を含む合葬墓について

答弁 市民部長(令和5年 第3回定例会)

墓地の継承者不在などによる無縁墓地の増加などを踏まえ、導入を検討していきたいと考えています。



今年度は、見笹霊園に合葬墓を整備するため約7千万円の予算が計上され、令和9年度の供用開始を目指しています。



質問 いちごっこ出産・子育て応援給付金事業について

答弁 市長・保健福祉部長(令和6年 第2回定例会)

給付金は妊娠及び出生届出時の面談後に計10万円を給付する事業で、令和7年度より支給額を20万円に倍増することを具体的に検討していきます。また、オンラインでの相談も今後検討してまいります。



質問 野生鳥獣被害の現状や猟友会の人材確保について

答弁 経済部長(令和6年 第4回定例会)

ワイヤーメッシュの管理や有害鳥獣捕獲に関わる方々の高齢化や減少等が課題です。狩猟者の人材確保支援策として、県及び県内12市では各種免許取得の様々な支援があり、本市も市独自の支援策を研究してまいります。



橋本 勝浩(1期)

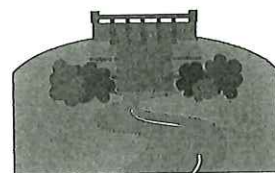
住所：鹿沼市中田町 1351-1
TEL:0289-60-5077
mail:0902@takuhacook123.jp
教育福祉常任委員会 委員
都市計画審議会 委員



質問 思川開発事業・南摩ダムに関連する市の対応について

答弁 市長(令和6年 第4回定例会)

事業主体である水資源機構が策定する「ダムの操作方法や管理に関する必要な事項」である「施設管理規程」の策定にあたり、市としては、地域住民の安全・安心に十分に配慮したルールになるよう、地元住民のご意見も踏まえながら、今後、水資源機構及び関係機関との協議を続けていきます。



質問 鹿沼市総合計画について

答弁 市長(令和6年 第3回定例会)

現在の総合計画については、令和8年度までの計画になっています。公約等を総合計画に早期に位置づけ、推進していくことが肝要であると思っています。次期計画の策定作業については、1年間前倒して、令和8年からスタートさせたいという方向で検討に入りました。



令和7年2月の市長定例記者会見において、『次期総合計画』を1年早め策定を進めるとの方針が示されました。



小島 実(5期)

住所：鹿沼市中栗野 136
TEL:0289-85-3227
FAX:0289-85-3927
産業建設常任委員会 委員
鹿沼市景観審議会 委員



質問 大雨被害について

答弁 経済部長(令和6年 第3回定例会)

本市では、森林組合や林業事業者に、作業道の開設や林道修繕等のための補助を行っています。また、林地残材をバイオマス資源として有効活用を促すため、今年度から「チップ材等利活用支援事業補助金」を創設し、林地残材の運搬費用を一部補助しています。引き続き、各種制度の周知を図りながら、残材の搬出を促していきます。



質問 観光と森林整備について

答弁 市長(令和5年 第2回定例会)

入栗野境沢地区から上久我坂本地区を結ぶ道路の整備について、市民の利便性の向上だけでなく、西北部地域の観光振興の観点からも、点在する多様な観光資源を回遊しやすくなるという大きなメリットがあると考えています。当該区間を最短で結ぶ道路である県道入栗野・引田線について、県に対する要望も視野に検討していきます。



舘野 裕昭(4期)

住所：鹿沼市北赤塚町 52-1
TEL:0289-75-2740
mail:minami@one.bc9.jp
教育福祉常任委員会 委員
宇都宮西中核工業団地事務組合協議会議員



質問 予約バスの南押原地区及び北押原地区から西方病院への運行について

答弁 市民部長(令和6年 第4回定例会)

市では、地域の皆様からの要望を受け、今年の10月1日から当該区間の予約バスの実証運行を開始しました。期間については、今年度末をひとつの節目とは考えていますが、利用状況や、傾向などが掴めるまでは延長も視野に入れていと考えています。今後の利用件数増加の傾向が見られれば、増便等について検討していきます。



質問 デマンドバスの二次救急指定病院への乗り入れについて

答弁 市民部長(令和6年 第1回定例会)

南押原地区や近隣地区から西方病院への乗り入れについて、多くの方が乗り入れを望まれていることは承知しています。つきましては、実態を把握し、今後の運行の必要性を判断するため、西方病院をはじめ、関係各所と調整を図り、早ければ令和6年9月頃から、実証実験などに着手したいと考えています。



大貫 桂一(2期)

住所：鹿沼市加園 1026-1
TEL:0289-64-1172
mail:tharuayu0609@yahoo.co.jp
産業建設常任委員会 委員長
鹿沼市人権啓発推進市民会議 委員



質問 産業誘致の今後について

答弁 市長(令和6年 第1回定例会)

西部地区は第8次総合計画において、1次産業資源やレクリエーション機能の確保、食を支える生産基盤の保存、活用を図るエリアとされています。基本的には、農業、林業等の1次産業を進行し、新規就農者や移住者の定住及び企業等の農業参入等を促していきます。一方で、ここを拠点に回遊が期待できるような仕組みづくりにも取り組んでいきます。



質問 大芦川川遊び対策について

答弁 総合政策部長(令和5年 第1回定例会)

河川利用に関する条例の内容について、地域と協議した結果を踏まえ、禁止する迷惑行為と地域を定めることで、川遊びのマナー向上を図っていきたいと考えています。まずは令和5年度中の理念条例の制定を目指すとともに、将来の罰金化を視野に入れた検討も並行して進めていきます。



令和5年12月21日「大芦川流域における生活環境等の保全に関する条例」が制定され、令和6年4月1日から施行されました。

鹿沼市議会 経世会 様

複合機iR-ADV C3926F 令和6年度お支払い分

請求月	複合機リース金額	保守金額(カウンター料金)
4	¥19,580	¥5,623
5	¥19,580	¥478
6	¥19,580	¥330
7	¥19,580	¥330
8	¥19,580	¥330
9	¥19,580	¥1,267
10	¥19,580	¥330
11	¥19,580	¥330
12	¥19,580	¥5,478
1	¥19,580	¥4,240
2	¥19,580	¥330
3	¥19,580	¥429
合 計	¥234,960	¥19,495

20

21

(税込み)

〒322-0016 栃木県鹿沼市流通センター50

柳田メディア株式会社

宇都宮支店 TEL(0289)76-1721
FAX(0289)72-1167



22

得意先
コード

領 収 証

Nº 001592A

鹿沼市議会 経世会 様

2025年 3月 31日

金 額	十	万	千	百	十	円
¥	7	3	7	0		

収 入

印 紙

但し コピー用紙代

上記金額正に領収致しました

種 別	区分	金 額	期日・摘要
現金	1		
小切手	2		
手 形	3		
合 計			

内 訳

税率 金額(税抜・税込)

% 消費税額



柳田メディア株式会社

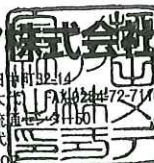
本 社 〒326-0822 足利市田中町32-14

TEL.0284-72-2222(大)

宇都宮支店 〒322-0016 鹿沼市流通センター50

TEL.0289-76-1721(代)

登録番号: T906000101930



扱 者